

平成15年10月27日

## 特定都市鉄道整備事業実施状況

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：上條 清文）の特定都市鉄道整備積立金につきまして、平成15年度上期の積立金額及び取崩額が次のとおり確定いたしましたので、お知らせいたします。

---

当社では、現在、田園都市線の抜本的輸送力増強策として「大井町線大井町～二子玉川間改良工事および田園都市線二子玉川～溝の口間複々線化工事」を進めております。同工事は特定都市鉄道整備積立金制度に基づき、平成7年9月の運賃改定以降、半期ごとに鉄道旅客運送収入の1%を積み立て、この積立金を工事費の一部に充当してまいりましたが、工事のより一層の促進を図るため、平成9年12月の運賃改定以降積立率を2%に変更しております。なお、田園都市線の最混雑区間である池尻大橋～渋谷間の一層の混雑緩和を目的に、平成12年11月17日大井町線改良工事区間を、当初の「大岡山～二子玉川間（現二子玉川）」から「大井町～二子玉川間」に変更し、大井町～二子玉川間を急行運転可能な施設に改良するとともに、都心方向への新ルートを整備する事業計画への変更を行いました。

また、東横線の抜本的な輸送力増強を図るため「目蒲線（現目黒線）目黒～多摩川園（現多摩川）間改良工事および東横線多摩川園～日吉間複々線化工事」を進めております。同工事は特定都市鉄道整備積立金制度に基づき、昭和63年5月の運賃改定以降、半期ごとに鉄道旅客運送収入の5%を、さらに同制度の改正に伴い平成7年9月の運賃改定以降は9%をそれぞれ積み立て、この積立金を工事費の一部に充当することにより工事の促進を図ってまいりましたが、平成9年12月に認定期限を迎えたため積み立てを終了し、平成10年度より取り崩しを開始いたしました。平成12年9月26日より目黒駅を經由して当社線と営団南北線および都営三田線、平成13年3月28日より営団南北線を經由して埼玉高速鉄道線と相互直通運転を開始し、新しい鉄道ネットワークが誕生いたしました。これに先立ち、平成12年8月6日より目黒～蒲田間で運行していた「目蒲線」を目黒～武蔵小杉間と多摩川～蒲田間にそれぞれ変更して「目黒線」、「東急多摩川線」といたしました。

このたび、平成15年度上期決算による積立金額及び取崩額が確定いたしましたので、工事の進捗状況とあわせてお知らせいたします。

## 記

### 1. 積立金額

#### 《大井町線改良工事および田園都市線複々線化工事》

平成14年度までの積立金額	14,264	百万円
平成15年度 上期積立金額	1,198	百万円
累積積立金額	15,462	百万円

なお、平成15年度上期の積立金は特定都市鉄道整備促進特別措置法に基づき、平成15年11月27日(木)に指定法人である(社)日本民営鉄道協会に積み立て、今後、工事の進捗にあわせて工事費に充当する計画です。

### 2. 取崩額

#### 《目蒲線改良工事および東横線複々線化工事》

平成9年度までの積立金額	53,072	百万円
平成14年度までの取崩額	26,536	百万円
平成15年度 上期取崩額	2,654	百万円
積立金額残高	23,882	百万円

### 3. 工事の進捗状況

#### 《大井町線改良工事および田園都市線複々線化工事》

##### ・二子玉川駅改良工事

平成11年9月に田園都市線と大井町線の入れ替え工事を完了し、同一方向同一ホーム化を図りました。平成12年9月には、駅舎工事が完成いたしました。

##### ・二子玉川～溝の口間線増工事

平成14年1月より工事着手し、二子橋梁の橋脚拡幅部分の桁架設工事が完了し、二子新地駅付近で高架橋拡幅部分の構築及びホーム上屋の架設工事を、二子新地～高津間では拡幅部分の高架橋構築工事を行っております。今後も二子橋梁部及び下り線側高架橋構築工事を進めてまいります。

- ・溝の口駅改良工事

平成8年6月に工事着手し、JR交差部の桁架設等の工事を終え、駅終点方の下り線側高架橋構築工事を進めております。今後も用地買収の進捗に合わせ順次高架橋拡幅工事を進めてまいります。

- ・旗の台駅改良工事

平成14年1月より工事着手し、現在は、軌道仮受桁の架設工事や下り線側の仮ホーム化等の仮設工事を進めております。仮設工事完了後は、下り線側高架橋の構築を進めてまいります。

- ・大井町駅改良工事

平成14年11月より工事着手し、現在は、ホーム拡幅延伸のための新設高架橋を下り線側に構築中です。高架橋基礎の施工が完了し、今後は柱、スラブの構築を進めてまいります。

- ・等々力駅改良工事

本格工事着手へ向けて、家屋調査、井戸調査、地下水調査等の調査工事を実施中です。

### 《目蒲線改良工事および東横線複々線化工事》

- ・目黒駅改良工事

地下3階(コンコース階)、地下4階(ホーム階)の躯体が完成後、駅施設等の建築、電気関係および軌道施設の工事を行い、平成9年7月に目黒駅の地下化切替が完了しました。地下1階、地下2階の躯体工事は平成10年9月に完成いたしました。

- ・目黒～洗足間立体交差工事

不動前駅は平成11年10月に直上高架切替を行い、元の位置に高架の仮設駅となりました。これにより目黒1号踏切が立体交差化されるなど2箇所踏切が解消されました。平成13年10月には環状6号線上の橋梁を新橋梁に切り替え、エスカレーター・エレベーターについては平成14年8月に、ホームドアについては平成14年9月にそれぞれ供用を開始いたしました。また、平成15年1月には高架橋区間が竣工し、駅舎改良工事が完了いたしました。

武蔵小山駅付近は駅部を橋上仮駅舎に切り替え、土留止水壁、軌道仮受桁架設工事が終了、軌道下で躯体の構築工事を進めております。

西小山駅付近は乗降場の仮設化、軌道仮受桁、ホーム下の掘削と一部躯体の構築工事を進めております。

- ・洗足駅付近施設改良工事

洗足駅は平成12年12月にホーム延伸（6両対応）工事を完了いたしました。

- ・大岡山駅改良工事

平成9年6月に目蒲線上り線を切り替え、4線全ての地下化が完了しました。駅地上施設は平成10年12月に完成いたしました。

- ・洗足～奥沢間施設改良工事

平成10年8月に電気関連工事、平成11年9月に奥沢駅改良工事に着手し、平成12年8月にホーム延伸（6両対応）工事を完了いたしました。

- ・多摩川橋梁～武蔵小杉間線増工事

平成9年8月に多摩川～武蔵小杉間の東横線上り線を、平成11年5月に下り線をそれぞれ本設高架橋へ切り替えました。また、平成11年11月に武蔵小杉終点方の東横線上り線を切り替え、目黒線折り返し施設が完成いたしました。

- ・武蔵小杉～日吉間線増工事

平成12年4月に着手し、現在、高架橋基礎杭工事ならびに高架橋構築工事等を行っております。また、車庫内においても車庫配線の切り替えを行いながら、高架橋基礎杭工事、高架橋構築工事を行っております。

なお、当該区間の工事完成予定は平成18年3月でしたが、用地買収交渉が難航していることにより、平成20年3月に変更いたします。

- ・ATC化工事

目黒線のATC新設工事は、平成12年8月に完了いたしました。

以上